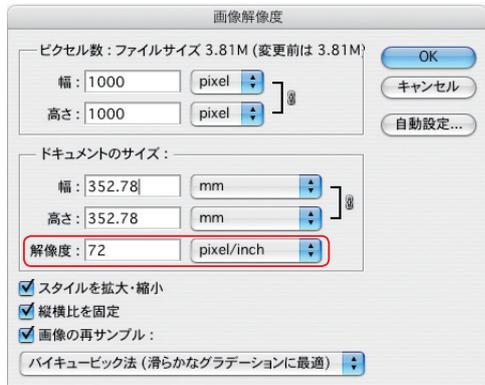


1. 画像の解像度

推奨の解像度は **300 ~ 350dpi (ppi)** です。オフセット印刷での推奨の解像度は「出力線数×2」とされているため、当社では「175 線×2」で 350dpi (ppi) です。



画像を開き、「**イメージ**」メニューから「**画像解像度**」を選択します。

※このデータは解像度 72dpi (ppi) ですので、352.78mm × 352.78mm のプリントサイズです。



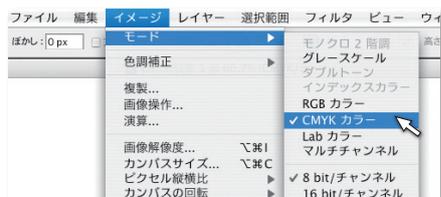
次に「画像の再サンプル」の**チェックを解除**し、「解像度」を「**350dpi (ppi)**」にします。

すると今度はプリントサイズ 72.57mm × 72.57mm になっていますので、この数値以上のサイズで画像を使用した場合は、ぼやけた感じとなり大きくしすぎると非常に荒い画像になります。

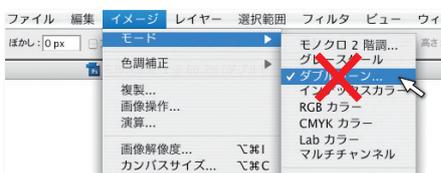
※低解像度のデータを画像の再サンプルにチェックを入れて解像度 350dpi (ppi) にしても画像は綺麗にはなりません。初めから高解像度で取り込んだものをご用意ください。

2. カラーモード

RGB カラーは出力時に CMYK に変換するため色が大幅に変わってしまいますので、CMYK カラーにしてください。

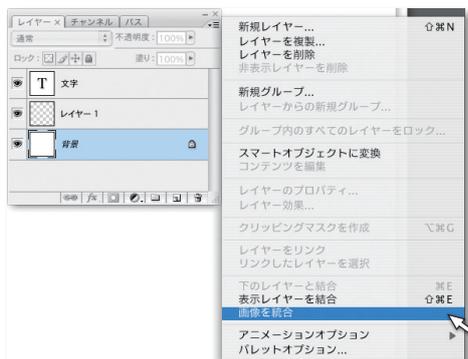


「**イメージ**」メニューから「**モード**」の「**CMYK カラー**」を選びます。

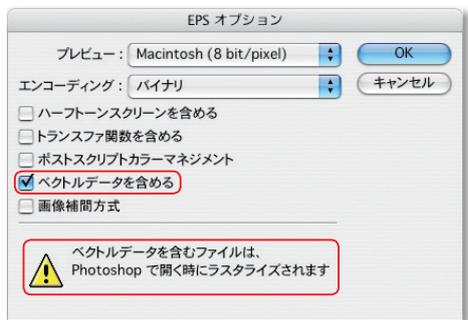


「**ダブルトーン**」は CMYK 変換の際に色が大幅に変わってしまいますので使用しないでください。

3. レイヤー



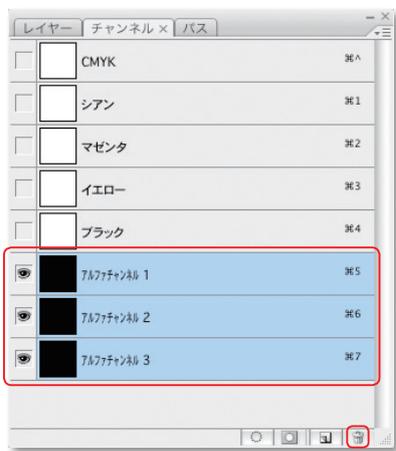
不要なレイヤーを削除し、画像を統合します。
レイヤーパレットメニューから「**画像を統合**」です。



文字データ、シェイプ（ベクトルレイヤー）を残したまま EPS 保存すると、再度開くときにラスターライズされてしまいエラーが出て当社で対処できませんので、必ず画像を統合した後に保存をお願いします。

※ EPS 保存時、左図のように警告と「ベクトルデータを含む」にチェックボックスが出ます。

4. アルファチャンネル



アルファチャンネルの情報は削除してください。

※アルファチャンネルの情報が残っていると、出力時にカラーが変化する場合がありますので、ご注意ください。

カラーチャンネルパレットを開きます。
左図の赤で囲った部分がアルファチャンネルです。

5. クリッピングパス

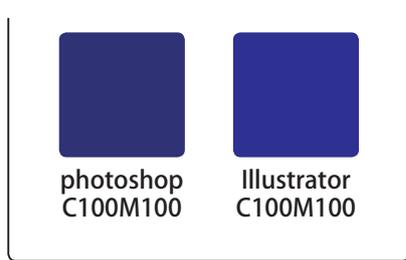


クリッピングパスの平滑度の数値は**入力しない**でください。
又は入力できる最小値「**0.2**」にしてください。

※高い数値が入っていると、出力時に滑らかに切り抜かれません。

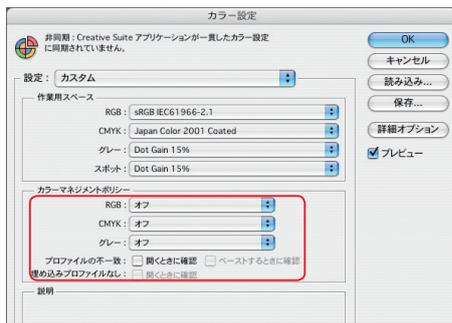
6. カラープロファイル

イメージ図



カラープロファイルは設定によっては画像の色が変換され、予期せぬカラーで出力されることがあります。

カラーマネジメントの設定がソフトごとに違っていたり、画像の保存形式によっては、左図のように photoshop で作成した C100 % M100 % と Illustrator で作成した C100 % M100 % で異なる状態で出力されてしまう場合がありますのでご注意ください。



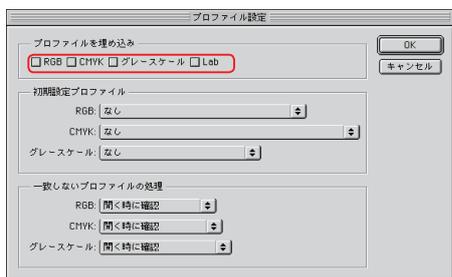
■ カラープロファイルを埋め込まない設定

「編集」メニューから「カラー設定」を選びます。

カラーマネジメントポリシーの「RGB」「CMYK」「グレイ」を全て「オフ」にします。

「プロファイルの不一致」のチェックを解除してください。

※ EPS 保存時に「カラープロファイルの埋め込み」にチェックを入れないで下さい。



■ photoshop 5 のカラープロファイルを埋め込まない設定

「ファイル」メニューから「カラー設定」の「プロファイル設定」を選びます。

「プロファイルの埋め込み」のチェックを全て解除します。

7. Photoshop EPS 形式での保存 (eps ファイル)

「ファイル」メニューから「別名で保存」を選択し、ファイル形式を「PhotoshopEPS」にして「保存」。

※ファイル名に拡張子「.eps」がつくようにしてください。



エンコーディングは「JPEG- 最高画質 (低圧縮率)」もしくは「バイナリ」を選びます。

チェックボックスにチェックは付けなくてください。

「OK」をクリックで完了です。

※エンコーディングの「JPEG- 最高画質 (低圧縮率)」は画像を圧縮して保存する形式です。ファイルサイズが小さくなるので、CD・MO により多く保存することができるようになります。JPEG エンコーディングで何回も保存しなると、劣化する場合があります。入稿前に JPEG エンコードで保存しなすことをお奨めします。